

第89期 第2四半期 株主報告書

2021年4月1日から2021年9月30日まで



西部電機株式会社

証券コード 6144



平素は、格別のご高配を賜り厚く御礼申し上げます。
さて、当社グループの第89期第2四半期連結累計期間
(2021年4月1日から2021年9月30日まで)の決算が
終了いたしましたので、その概況をご報告申し上げます。

2021年12月

取締役社長 佐藤 孝一

中期経営計画「チャレンジ280」の

Q 当第2四半期の決算ポイントについて教えてください。

A 精密機械事業が堅調に推移。前年同期比で増収増益となりました。

当第2四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新型コロナウイルスの普及による経済活動の正常化が期待されているものの、それに伴い今後の感染再拡大も懸念されます。また、製造業を中心に半導体をはじめとした電子部品の供給不足による生産への影響や原材料価格の上昇等もあり、依然として先行き不透明感が続いております。

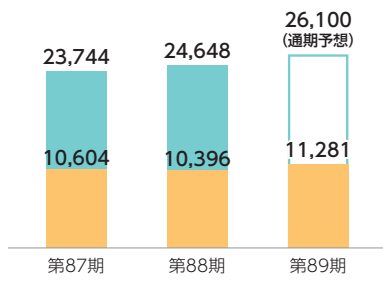
このような情勢の中で、2021年度から2023年度までの新中期経営計画「チャレンジ280」を策定し、当社グループはどのような環境下にあっても、「危機感」と「決断」と「スピード」を常に念頭におき、変化に対応することによって、受注・売上を拡大し、市場競争を勝ち抜くべく、全社を挙げて努力しております。

当第2四半期連結累計期間の業績は、主に精密機械事業が

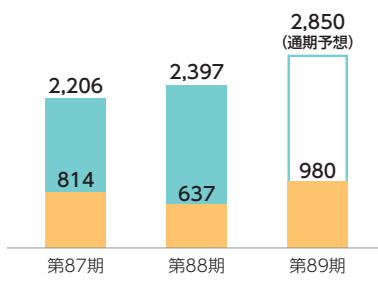
業績ハイライト・Financial Highlights

■ 第2四半期 ■ 通期 (単位: 百万円・%)

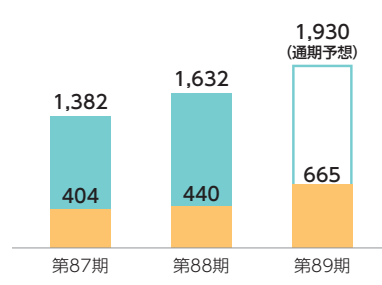
売上高



経常利益



親会社株主に帰属する四半期(当期)純利益



初年度。全社一丸となって目標達成を目指します。

堅調に推移したことにより、受注高は143億8千5百万円(前年同期比25.4%増)、売上高は112億8千1百万円(前年同期比8.5%増)となりました。また、損益においては、コストダウンと経費節減に当社グループ一丸になって注力した結果、経常利益は9億8千万円(前年同期比53.9%増)、親会社株主に帰属する四半期純利益は6億6千5百万円(前年同期比51.3%増)となりました。

Q 通期に向けてはいかがでしょうか？

A チャレンジ280の計画達成へ向け執念をもって取り組んでまいります。

市場環境は昨年に引き続き新型コロナウイルスにより影響を受ける一方、米中をはじめとする世界経済の持ち直しや為替相場の円安・ドル高基調により輸出環境が好転し、幅広い業種において追い風となっております。当社におきましては、新中期経営計画「チャレンジ280」の初年度となります。経営スローガン

として「新たな変革にスピードを意識し果敢に挑戦して行こう」を掲げ、計画達成へ向け執念をもって取り組んでまいります。

なお、通期の連結業績は、売上高261億円、経常利益28億5千万円、親会社株主に帰属する当期純利益19億3千万円を見通しております。

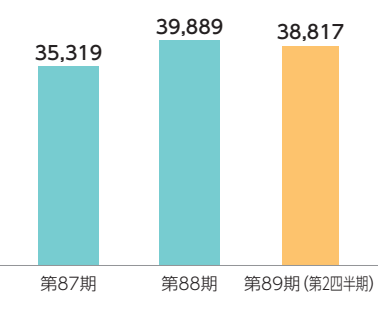
Q 株主の皆様へメッセージをお願いします。

A 当第2四半期末の配当金は、1株当たり15円とさせていただきます。

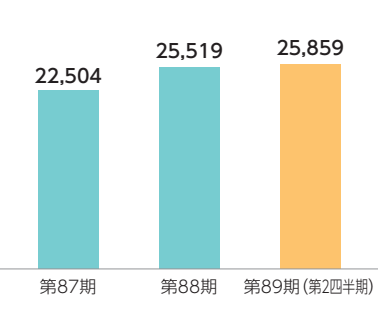
当社は安定的な配当を継続して行うことを基本方針としており、業績の向上によって1株当たりの利益水準を高めるとともに、中長期の展望、財務状況等を考慮し、これに対応した配当を決定すべきと考えております。当第2四半期末の配当金につきましては、1株当たり15円とさせていただきます。

株主の皆様におかれましては、今後ともよろしくご支援とご鞭撻を賜りますようお願い申し上げます。

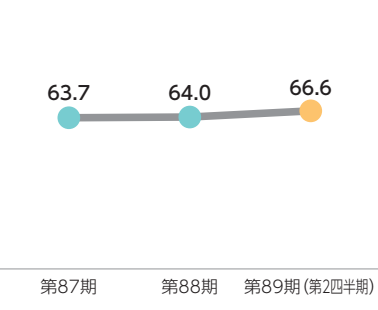
総資産



純資産

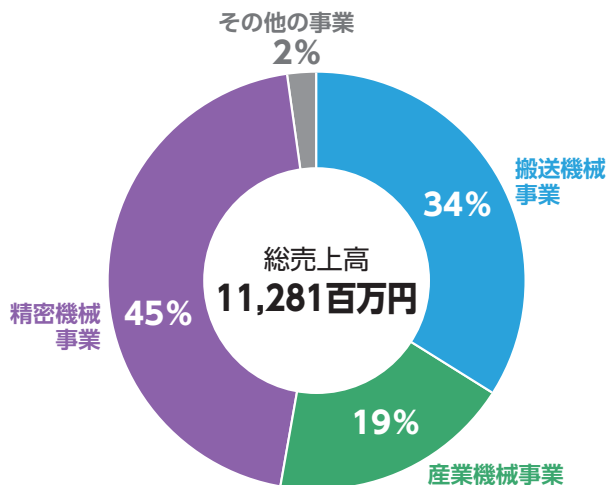


自己資本比率

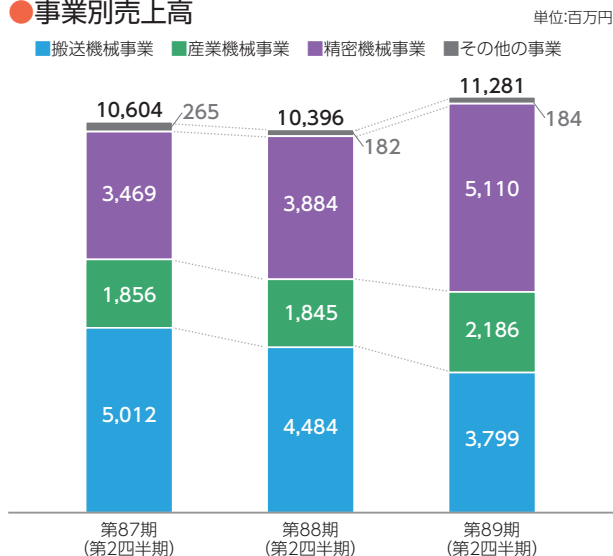


主要な事業別営業の概況 ・ *Operating Overview*

●事業別売上高構成比



●事業別売上高



搬送機械事業

売上高 **3,799百万円** (前年同期比15.3%減)

搬送機械事業では、既存顧客からのリピート受注、自動倉庫や生産・物流分野などに、ピッキングシステムや新商品を使ったソリューションを提案するとともにサービス・メンテナンスにも注力し、拡販を図ってまいりました。その結果、前年同期に成約したような大口物件がなかったこともあり受注高は42億4千6百万円(前年同期比9.9%減)、売上高は37億9千9百万円(前年同期比15.3%減)となりました。

主要商品

- 立体自動倉庫
- FAシステム
- ケース自動ピッキングシステム
- 搬送・ハンドリングシステム
- ロボティクス・マテハン

FAシステム(DIOシステム)



ケース自動ピッキングシステム(高速フェースカー)



ロボティクス・マテハン(カートケースローダー)



TOPICS

飲料仕分けセンタに「ファインピッカー-C」納入

既存のお客様の飲料仕分けセンタ新規設備計画に伴い、手作業で行っている少量品デパレタイズ作業の省人化ニーズに応え、新商品「ファインピッカー-C」を開発・納入いたしました。

「ファインピッカー-C」は、パレット上に積まれた段ボールを4軸直行ロボットでデパレタイズする装置です。この装置には、3Dと2Dカメラを組み合わせてケースの高さと姿勢を瞬時に認識する画像解析処理と、最適軌跡で動作コントロールできる4軸直行ロボット制御という2つの新技術を搭載しました。その結果、従来2~3名で行っていた作業の省人化を実現しました。また、多関節ロボットに比べて、接地面積6.2%減、コスト30%減を達成しました。

今後も、省人化・無人化の要求と期待に応え、「ロボティクス・マテハン」商品の拡販に事業部一体となって取り組んでまいります。



ファインピッカー-C



産業機械事業

売上高 **2,186**百万円 (前年同期比18.5%増)

産業機械事業では、受注高は上下水道向けやゲート分野が順調に推移し30億6千万円(前年同期比0.3%増)、売上高は民需向けやゲート分野の大型案件もあり21億8千6百万円(前年同期比18.5%増)となりました。

主要商品

■ バルブアクチュエータ ■ ゲート駆動装置



TOPICS 電源開発株式会社 鬼首地熱発電所向け 大口更新案件受注

環境問題により、脱炭素化が進む中、火力発電所の新設や更新案件は低迷しています。この状況下で再び脚光を浴びているのが自然エネルギーによる地熱発電です。

地熱発電所は小規模で衰退傾向となっており、市場ターゲットとして注視していませんでしたが、昨年、更新引き合いが増加していた為、産機民需PTとして情報収集に努めていました。その最中、船舶用バルブの大手メーカー殿より鬼首(おにこうべ)地熱発電所更新案件の引き合いを頂きました。

案件調査の結果、当該発電所は宮城県大崎市に所在し、1975年の営業運転開始以来、40年以上にわたり電源開発株式会社殿にて運転されてきましたが、設備老朽化によりバルブアクチュエータ23台を含む最新設備への更新工事が計画されていました。調査開始当初、エンドユーザである電源開発株式会社殿や元請けの富士電機株式会社殿は、地熱発電設備にて多数の導入稼働実績のある既設の海外メーカ製品での更新を計画されていましたが、性能・価格・サービス体制等を粘り強くPRした結果、当社製品をご採用頂けることとなりました。

今後も地熱発電設備へのPR活動を強化し市場拡大・拡販に努めます。



Semflex-VM

精密機械事業

売上高 **5,110**百万円 (前年同期比31.6%増)

精密機械事業では、国内は補助金効果もあり設備投資需要の回復基調が見られ、海外は中国向けワイヤ放電加工機の輸出が前連結会計年度から堅調に推移し、受注高は69億4百万円(前年同期比95.0%増)、売上高は51億1千万円(前年同期比31.6%増)となりました。

主要商品

■ 超精密・高精密ワイヤ放電加工機 ■ 高精密小形NC旋盤
■ 超精密ワイヤ放電加工機(油仕様) ■ 正面旋盤
■ 高精密自由形状内面研削盤



TOPICS INTERMOLD2021展示会出展報告&オンラインブース開設報告

コロナ禍の影響により各展示会が中止になる中、約2年ぶりに実機による展示会「INTERMOLD2021」に出展しました。出展機は、業界最高クラスの精度と大型ストロークを両立した「SuperMM80B」、多彩なオプションを搭載して省力化・省人化を可能とした「M50B」のワイヤ放電加工機2機種と、冷間鍛造金型製作に於いて、生産性向上と技術革新をもたらす高精密自由形状内面研削盤「SFG-28」の計3機種を出展いたしました。移動自粛の影響で、会期中の総来場者数は前回は約74%減となりましたが、当社ブースへの来場比率は2.6倍と大きく向上しました。

また、初の試みとして、実際の出展ブースをバーチャル化したオンラインブースを会期終了後から開設しました。動画やパンフレットを用いた、当社製品をより身近に感じて頂ける内容となっております。当社HPにて常時公開しておりますので是非ご来場ください。



連結財務諸表(要約) ・ *Financial Statements*

単位:百万円(金額は単位未満を切り捨てております。)

第2四半期連結貸借対照表

科 目	第88期 2021年3月31日	第89期第2四半期 2021年9月30日
資産の部		
流動資産	23,071	22,017
固定資産	16,817	16,799
有形固定資産	10,042	9,957
無形固定資産	45	42
投資その他の資産	6,729	6,800
資産合計	39,889	38,817
負債の部		
流動負債	10,320	8,801
固定負債	4,048	4,156
負債合計	14,369	12,957
純資産の部		
株主資本	19,009	19,372
資本金	2,658	2,658
資本剰余金	2,616	2,616
利益剰余金	13,798	14,161
自己株式	△64	△63
その他の包括利益累計額	6,510	6,486
純資産合計	25,519	25,859
負債純資産合計	39,889	38,817

第2四半期連結損益計算書

科 目	第88期第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	第89期第2四半期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
売上高	10,396	11,281
売上原価	7,787	8,089
売上総利益	2,609	3,191
販売費及び一般管理費	2,014	2,253
営業利益	594	938
営業外収益	61	47
営業外費用	18	5
経常利益	637	980
特別利益	—	0
特別損失	3	0
税金等調整前四半期純利益	634	980
法人税、住民税及び事業税	59	173
法人税等調整額	134	141
四半期純利益	440	665
親会社株主に帰属する四半期純利益	440	665

第2四半期連結キャッシュ・フロー計算書

科 目	第88期第2四半期 2020年4月1日から 2020年9月30日まで	第89期第2四半期 2021年4月1日から 2021年9月30日まで
営業活動によるキャッシュ・フロー	2,558	2,433
投資活動によるキャッシュ・フロー	△328	△217
財務活動によるキャッシュ・フロー	△272	△313
現金及び現金同等物の増減額(△は減少)	1,956	1,903
現金及び現金同等物の期首残高	7,511	10,824
現金及び現金同等物の四半期末残高	9,467	12,727

会社概要・Corporate Profile

2021年9月30日現在

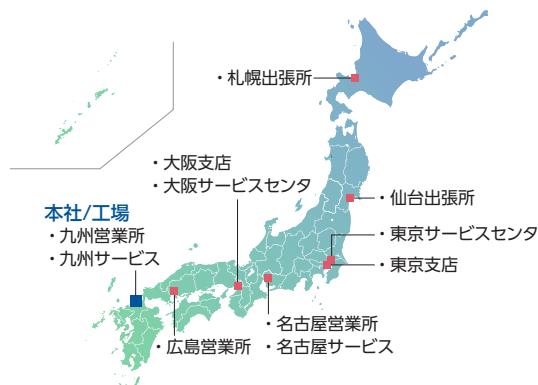
会社の概況

商号	西部電機株式会社
英訳名	Seibu Electric & Machinery Co., Ltd.
本店所在地	福岡県古賀市駅東三丁目3番1号
設立	1939年2月1日
資本金	26億5,840万円
従業員数	520名(連結575名)

役員

取締役会長(代表取締役)	宮地 敬四郎
取締役社長(代表取締役)	税所 幸一
取締役	佐藤 徳生
取締役	後藤 俊哉
社外取締役	井上 信之
社外取締役	馬場 信哉
常勤監査役	大串 秀文
社外監査役	大塚 丈徳
社外監査役	岸川 浩幸

事業所



株式の状況

発行可能株式総数	32,980,000株
発行済株式の総数	15,160,000株
株主数	2,314名

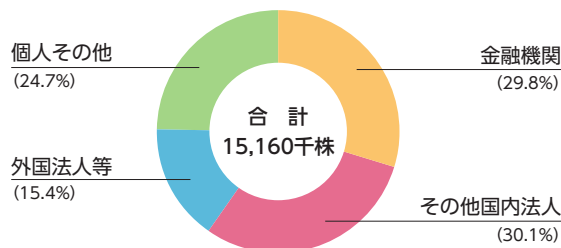
大株主

株主名	持株数(千株)	持株比率(%)
株式会社安川電機	2,630	17.3
CGML PB CLIENT ACCOUNT / COLLATERAL	1,591	10.5
株式会社日本カストディ銀行(信託口)	1,506	9.9
株式会社豊田自動織機	1,106	7.3
MSIP CLIENT SECURITIES	675	4.4
株式会社三菱UFJ銀行	650	4.2
株式会社福岡銀行	633	4.1
みずほ信託銀行株式会社	626	4.1
株式会社西日本シティ銀行	589	3.8
西部電機従業員持株会	411	2.7

(注) 1. 持株比率は自己株式(10,324株)を控除して計算しております。なお、自己株式には株式給付信託(BBT)の信託財産として信託が保有する当社株式53,100株は含まれておりません。

2. シンプレクス・アセット・マネジメント株式会社から2021年8月10日付で提出され、公衆の縦覧に供されている大量保有報告書の変更報告書において、2021年8月2日現在同社が3,760,000株(保有割合24.80%)を保有している旨が記載されております。しかし、当社として当第2四半期会計期間末における同社の実質所有株式数の確認ができていないため、上記大株主には含めておりません。

所有者別株式分布状況



株主メモ

事業年度	毎年4月1日から翌年3月31日まで
定時株主総会	毎年6月
単元株式数	100株
剰余金の配当	毎年3月31日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
中間配当	取締役会の決議によって、毎年9月30日の最終の株主名簿に記載または記録された株主または登録株式質権者に対してお支払いいたします。
公告方法	電子公告により、当社ホームページ(https://www.seibudenki.co.jp/)に掲載いたします。なお、やむを得ない事由により、電子公告によることができない場合は、日本経済新聞に掲載いたします。
基準日	毎年3月31日 その他必要があるときは、取締役会の決議によってあらかじめ公告いたします。

ホームページのご案内

当社Webサイトでは、事業内容やIR情報などがご覧いただけます。



<https://www.seibudenki.co.jp/>

または、

	証券会社等で 株式を保有されている場合	証券会社等で株式を保有されていない場合 (特別口座の場合)
住所変更、株式配当金受 取り方法の変更などの お問い合わせ	お取引の証券会社等になります。	当社の特別口座の口座管理機関 みずほ信託銀行株式会社へお問い合わせ願います。 みずほ信託銀行株式会社 証券代行部
未払配当金、その他当社 株式関係書類のお問い 合わせ	右記みずほ信託銀行株式会社 までお問い合わせ願います。	ホームページ: https://www.mizuho-tb.co.jp/daikou/index.html フリーダイヤル 0120-288-324 (土・日・祝日を除く 9:00～17:00)
ご 注 意		特別口座では、単元未満株式の買取・買増以外の株式売買はできません。株式の売買にあたっては、証券会社に口座を開設し、株式の口座振替手続を行っていただく必要があります。



株主優待制度のお知らせ

株主の皆様の日頃からのご支援に感謝するとともに、当社株式への投資の魅力を向上させ、より多くの株主様に中長期的に保有していただけることを目的に、株主優待制度を実施しております。

株主優待制度の概要	(1) 対象となる株主様	3月末現在の株主名簿に記載された当社株式 1単元(100株)以上保有の株主様。
	(2) 優待内容	保有株式数100株以上でフオカード1,000円分を 進呈いたします。
	(3) 贈呈時期	定時株主総会終了後の6月下旬の発送を予定して おります。



表紙の絵は、本社玄関フロアに展示されている陶版画で、奥入瀬深流の四季をモチーフに『自然随順』を表現しております。

当社が「我々のロマン」として掲げるスローガン「我々は技術の本質を謙虚に探索し自然随順に即した応用で広く世界に貢献しよう」は、好不況にかかわらず、ロマンを胸に、機械文明と自然が共存し得るとの信念で謙虚さと誇りをもって商品を作り、広く世界に貢献することを宣誓しています。

西部電機株式会社

●お問い合わせ先

〒811-3193 福岡県古賀市駅東三丁目3番1号 TEL:092-941-1500(代表)



環境に配慮したFSC®認証紙と植物油インキを使用して印刷しています。